

“はじめよう！「段ボールコンポスト」” 実施結果！

2020年9月 28日 神戸市リサイクル工房あづま

夏休みの期間を利用して「段ボールコンポスト」を活用することで、家庭から出る「燃えるごみ」をどれくらい減らすことができるのか119世帯のご家族に挑戦していただきました。

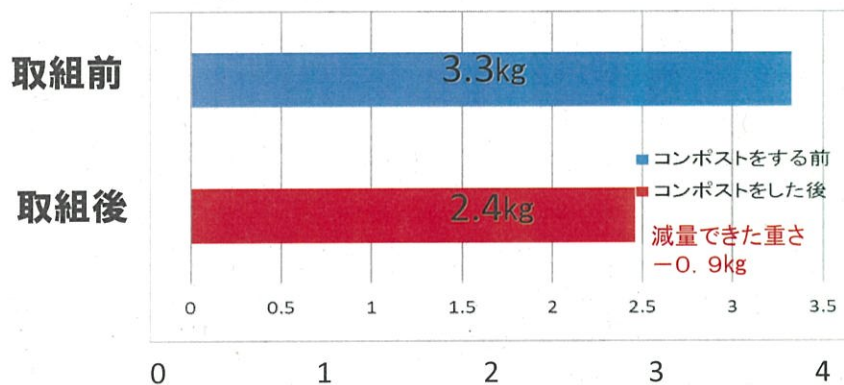
【実施方法】

- ①7月17日～7月31日(1～2週目)は、なにもせずにごみの重さを量りました。
- ②7月31日～8月14日(3～4週目)は、「段ボールコンポスト」をはじめ、ごみの重さを量りました。

ご参加いただいた約半数にあたる60世帯のご家族から重さの記録と感想を書いた報告書をいただきましたので、内容をご紹介します。

○こんなに減りました！！

ごみ出し1回あたりの重さの平均を段ボールコンポストに取り組む前と後で比較してみると下のグラフのようになりました。



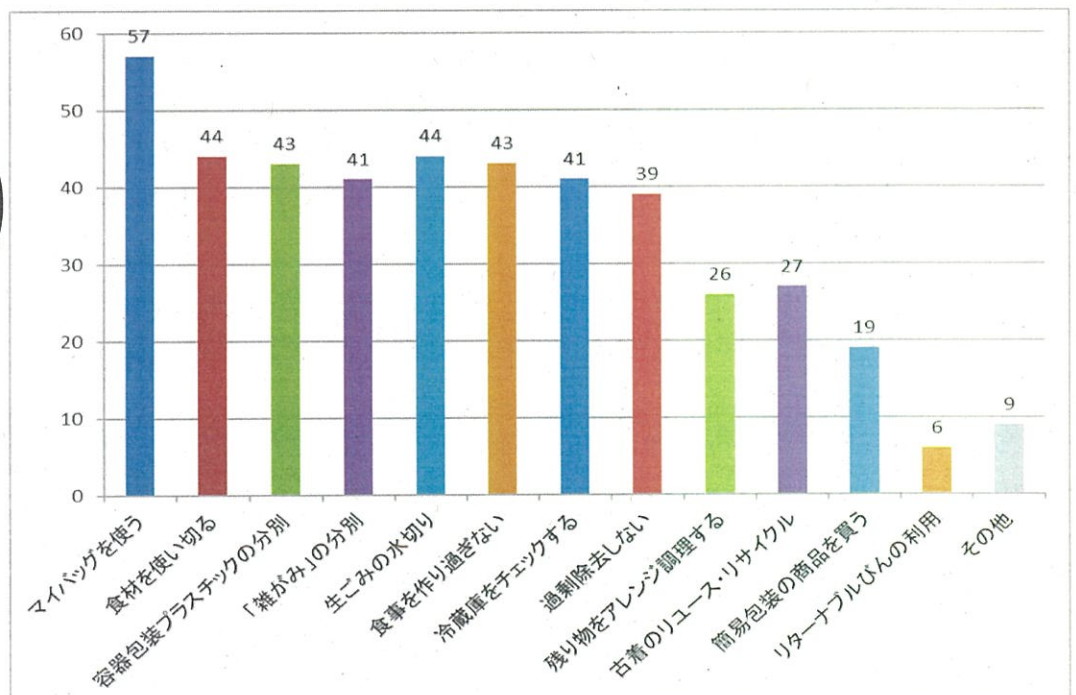
報告いただいた83%の世帯がごみの減量に成功したんやで！



○コンポストの他にも、こんな減量方法に取り組んでみました！

(世帯数)

※複数回答あり



家庭でできる減量方法はいろいろあるのね。



お寄せいただいた感想の中から、一部をご紹介します。

○ ごみについてたくさん考えました

- ・ ごみ袋を45リットルから30リットルに変えると減量できそう。
- ・ 野菜の捨てる部分を少なくすることを意識した。
- ・ 紙類を資源ごみに回すと全体のごみの量が減った。
- ・ 2週間で4キログラムのもえるごみは、1年間で120キログラムになることに驚いた。
- ・ ごみが重いのは生ごみの水分のせいだと思う。
- ・ ごみで埋め立て地がいっぱいにならないよう助けたい！！



○ 段ボールコンポストってすごい！

- ・ 小さい微生物が大きなごみを分解するのはすごい！！
- ・ 微生物が生ごみを分解する様子が面白かった。
- ・ 夏場のごみ削減にはたすかった。
- ・ 毎日かき混ぜるのは大変だったけど、子育てみたいで楽しかった。
- ・ 魚の頭も1日で分解されて臭いも気にならない。
- ・ 使い終わった油を入れると虫がいなくなった。
- ・ ダンボールがいがいと丈夫だった。
- ・ いがいに生ごみがなくなるのが早かったのでびっくりした。



○ こんなことにも気づいたよ

- ・ 分別をきちんとしたら紙ごみが多くてびっくりした。
- ・ 雑がみを分別するとかなりのごみが減った。
- ・ たべのこしをしないこと。
- ・ 買い物には必ずマイカゴ・マイバックを持っていくことも大切だと思う。



○ 家族で一緒に！

- ・ ごみの意識が大きく変わった。肥料がうまくできたら野菜作りをして使いたい。
- ・ 生ごみをごみ箱に捨てなくなったので、お母さんが喜んでいました。
- ・ 野菜類の値が高く、生ごみは少ないと思っていたが、意外に重かった。

○ 少し困ったことも・・・

- ・ コバエが湧き、かき混ぜるのが大変だった。
- ・ 強烈な生ごみの臭いにこまった。
- ・ コンポストへ入れても良いかよくないかの判断がむずかしかった。
- ・ 魚の骨などを分けるのが面倒。
- ・ 途中から生ごみが多すぎて、コンポストでは処理できなかった。



リサイクル工房あづまより

短い夏休みでしたが、皆さん工夫しながら楽しく、そして興味深く観察している様子が伝わってきました(イラスト・観察ノート・写真もありました)微生物の力はすごいですね！自分たちが身近に取り組める方法でごみをへらしましょう！

